

Super economy series

バーコードリーダー設定ガイド

対応機種

SD-120

SE-380

SG600BT

LG610BT

etc



ウェルコムデザイン株式会社

URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

東京 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル
TEL. 03-5295-7250(代) FAX. 03-5295-7252

神戸 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル

SDC 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F

TEL. 078-993-6010(代) FAX. 078-993-6020 [本部 / SDC]

(※) SDC stands for Support and Delivery Center

[illegible]

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1ヶ年とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てセドバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

安全上の注意

- ✧ ご使用の前に本書をお読みにになり、正しく安全にご使用ください。
- ✧ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストラップを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やテレビなどの磁気が発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機のクリーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

充電機および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

- ✓ 付属のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ ACプラグや電源コードを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ ACプラグや電源コードが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず0~40℃の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電機を使用しないでください。
- ✓ 充電機は、デバイスから取り外し、金属などが無い0~40℃の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電機を充電しても動作時間が短い場合は、充電機の寿命です。新しい充電機をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電機を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

INDEX

1. はじめに	7
2. システムソフト	8
3. 一般動作に関するパラメータ	9
3.1. インターフェイスの選択	9
3.2. キーボード / USB キーボード インターフェイス	9
3.2.1. キーボード 言語	9
3.2.2. キーボード ウィング オプション	10
3.2.3. CAPS ロック検出	10
3.2.4. ALT シーケンス	10
3.2.5. 数字データキー送信	11
3.2.6. ノートブック PC オプション	11
3.3. RS232C インターフェイス	12
3.3.1. ポート	12
3.3.2. データビット	12
3.3.3. ストップビット	13
3.3.4. パリティ	13
3.3.5. ハンドシェイク	14
3.4. ハッド / ターミナル	15
3.5. キャラクタ間デレイ	16
3.6. 読取モード	17
3.6.1. 同一コード 読取デレイ	18
3.7. 初回コード 読み取り	19
3.8. 読取照合回数	19
3.9. 液晶読み取り最適化	19
3.11. パワーオフ	20
3.12. スleep	20
4. バーコードに関するパラメータ	21
4.1. UPC/EAN/JAN	21
4.2. コード 39	23
4.3. コード 128	25
4.4. インターリーブド 25	27
4.5. インターストリアル 25	29
4.6. マトリクス 25	31
4.7. NW7 (コードバー)	33
4.8. コード 93	35
4.9. MSI/Plessey	37
4.10. GS1 Databar Omnidirectional	39
4.11. GS1 Databar Limited	40
4.12. GS1 Databar Expanded	41
5. データフォーマット	42
5.1. コード ID	42
5.2. ユーザーコード ID	43
5.3. キャラクタ挿入	45
5.3. キャラクタ削除	47

6. Bluetooth	49
6.1. プロファイル	49
SPP マスターモード 1(専用クレードル)	49
SPP マスターモード 2(専用クレードル以外、市販ドックなど)	50
SPP スレーブモード	50
HID モード	51
PIN コードの設定	51
6.2. クレードル ID 表示	51
6.3. 自動再接続	52
6.4. 通信圏外メモリ機能	52
6.5. iOS ソフトウェアキーボード表示切替	53
6.6. スリープモード	53
6.7. メモリーモード	54
6.8. システムリセット	54
補足 A. ASCII バイナリコード表	55
補足 B. ファンクションキーバイナリコード表	58
補足 C. ASCII コード表	59
補足 D. サンプルバイナリコード	61
修理依頼書	62

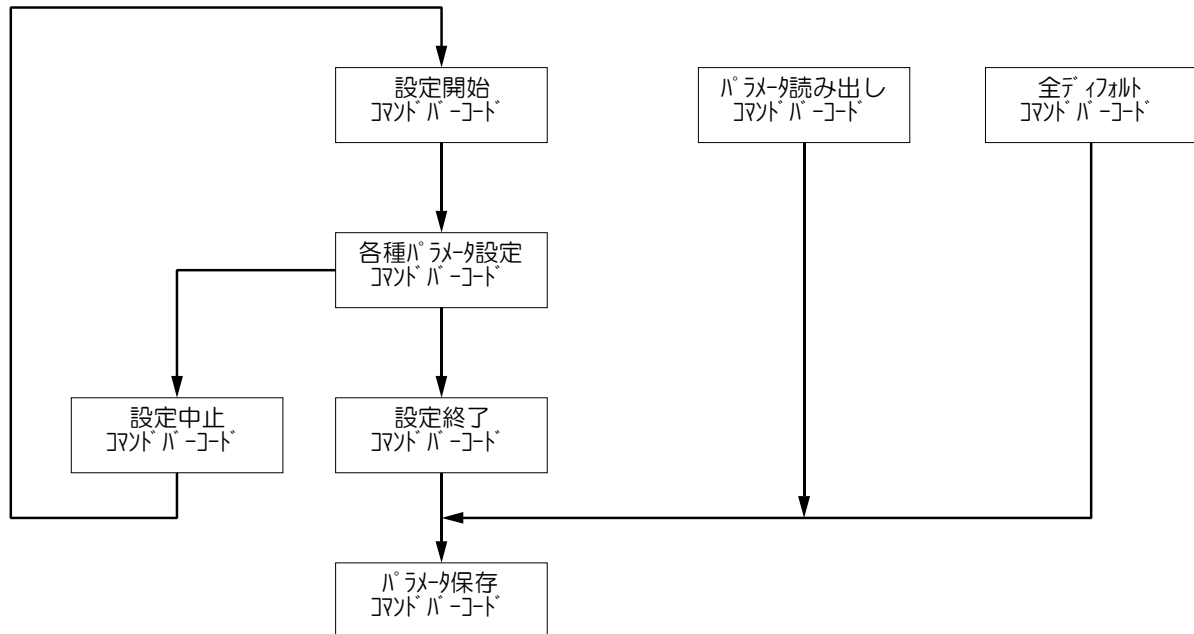
1. はじめに

この度は、弊社バーコードリーダー（以下、リーダー）をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、バーコードリーダーのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドバーコードを読み取ることで、バーコードリーダーのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。最後にパラメータ保存コマンドバーコードをスキャンすれば、設定したパラメータが不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

設定手順フロー



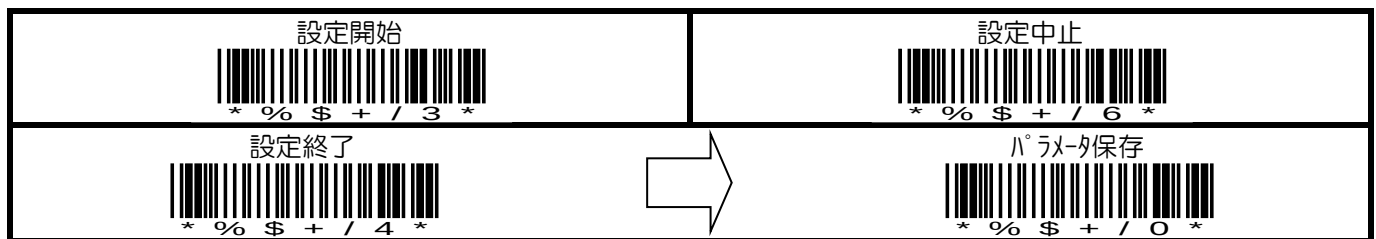
2. システムコマンド

システムコマンドをスキャンすると、リーダーは、ピピピッというビープ音を鳴動します。

コマンドバーコード	説明
 * % \$ + / 3 *	<u>設定開始</u> 左記のバーコードをスキャンすると、設定モードに入ります。
 * % \$ + / 4 *	<u>設定終了</u> 左記のバーコードをスキャンすると、設定モードを終了します。 <u>この時点では、まだ、パラメータは不揮発性メモリに保存されていません。</u>
 * % \$ + / 0 *	<u>パラメータ保存</u> 左記のバーコードをスキャンすると、パラメータを不揮発性メモリに保存します。
 * % \$ + / 6 *	<u>設定中止</u> 左記のバーコードをスキャンすると、設定を中止します。
 * % \$ + / 1 *	<u>設定読み出し</u> 左記のバーコードをスキャンすると、不揮発性メモリに保存されているパラメータを読み出します。
 * % \$ + / 2 *	<u>全デフォルト</u> 左記のバーコードをスキャンすると、全パラメータを工場出荷時の値にリセットします。
 * % \$ + / 5 *	<u>ファームウェアバージョン</u> 左記のバーコードをスキャンすると、ファームウェアバージョンを出力します。

3. 一般動作に関するパラメータ

3.1. インタフェイスの選択

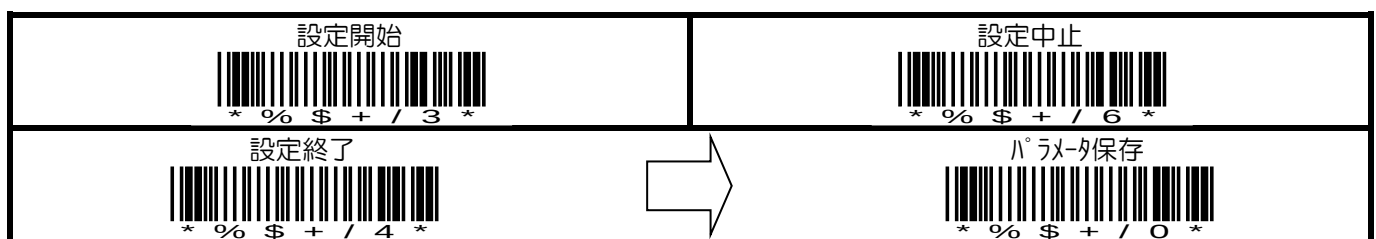


コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 0 U 0 *	キーボードインタフェイス	
 * % 0 0 U 8 *	RS232C インタフェイス	
 * % 0 X 0 8 *	USB キーボード インタフェイス (HID)	■
 * % 0 0 8 8 *	USB バーチャル COM インタフェイス(*)	
 * % 0 0 M 2 *	ワードエミュレーション	

 USB バーチャル COM インタフェイスをサポートしているモデルのみ使用可能です。

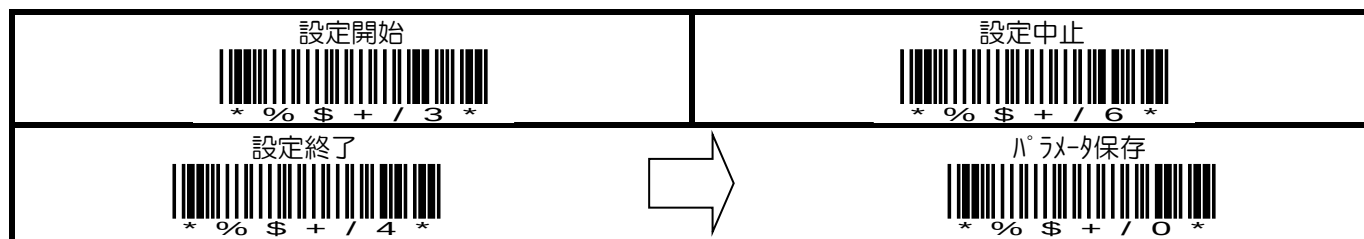
3.2. キーボード / USB キーボード インタフェイス

3.2.1. キーボード言語



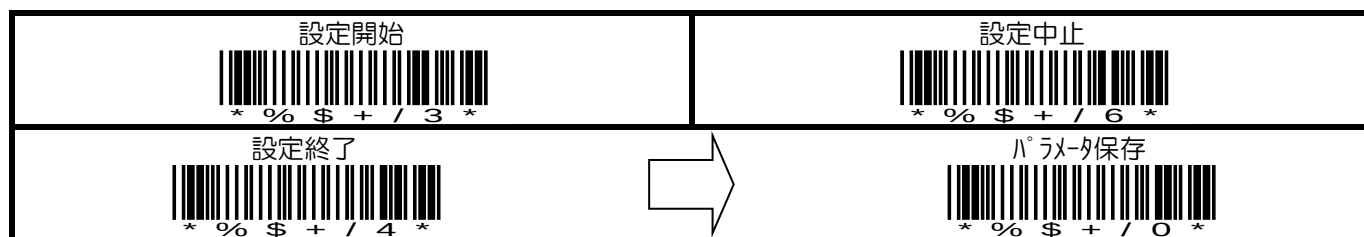
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 Z V 0 *	英語キーボード	■
 * % 0 Z V 9 *	日本語キーボード	

3.2.2. キーボードウィズオプション



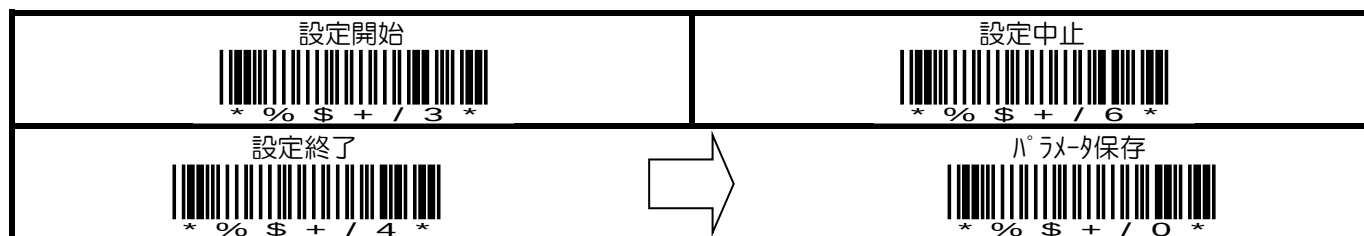
コマンドバーコード	説明	デフォルト
	大文字/小文字変換無し	■
	大文字変換有り	
	小文字変換有り	

3.2.3. CAPS ロック検出



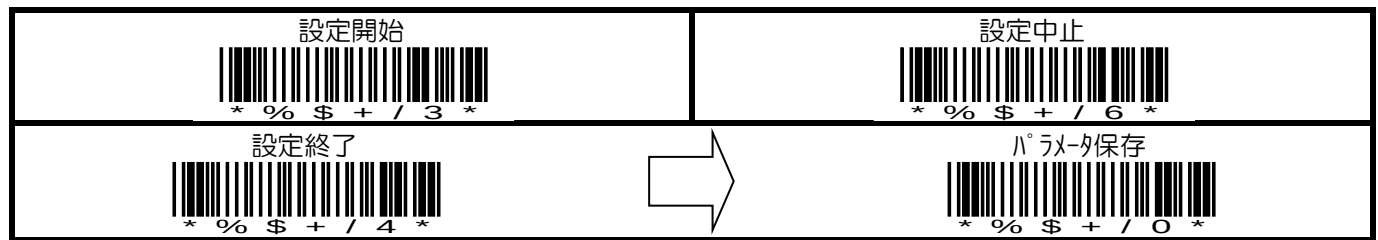
コマンドバーコード	説明	デフォルト
	検出無し	■
	検出有り	

3.2.4. ALT シークス



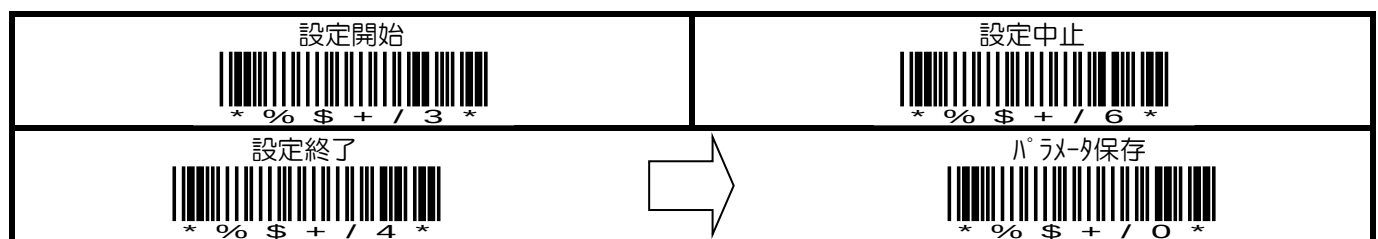
コマンドバーコード	説明	デフォルト
	ALT シークス無し	■
	ALT シークス有り	

3.2.5. 数字データ送信



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 1 K 0 *	数字データ送信無し	■
 * % 0 1 K 4 *	数字データ送信有り	

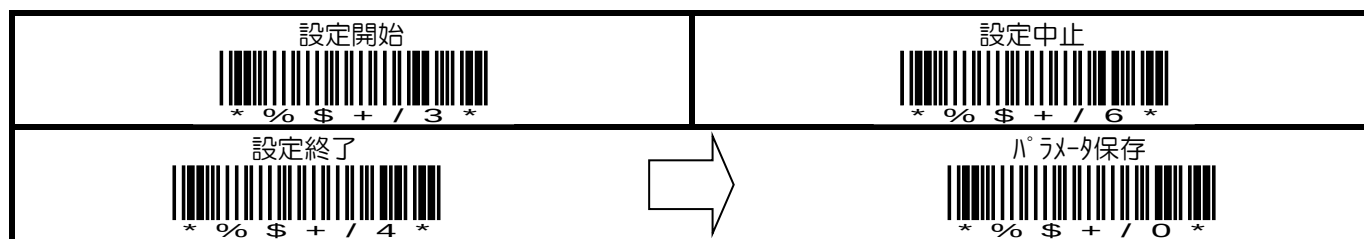
3.2.6. ノートブックPCポジション



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 3 4 0 *	外付けキーボードエミュレーション無し	■
 * % 0 3 4 4 *	外付けキーボードエミュレーション有り	

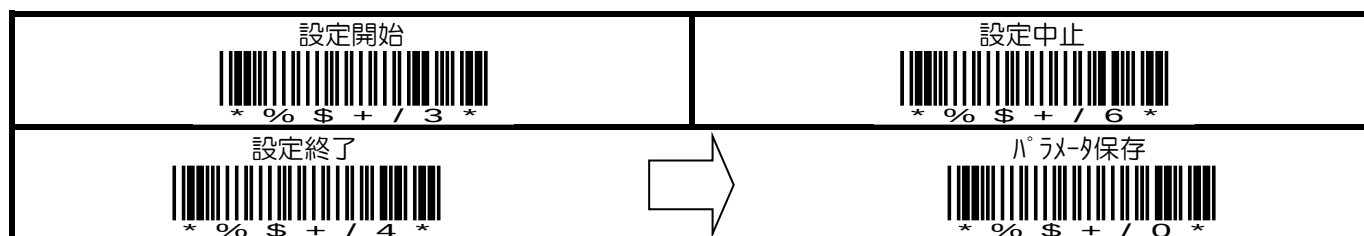
3.3. RS232C インターフェイス

3.3.1. ポート



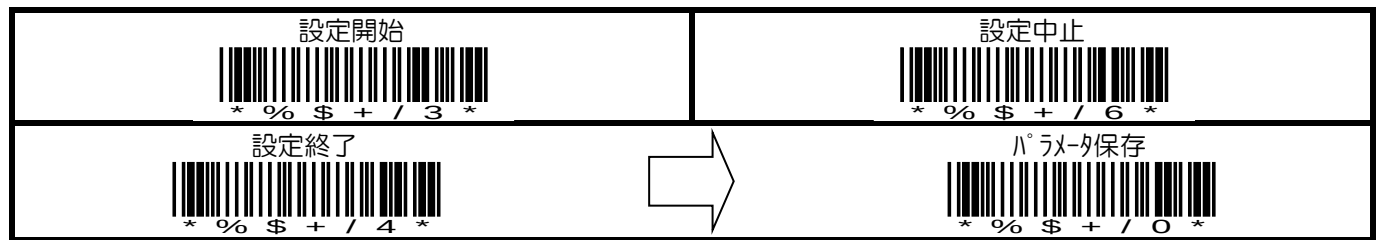
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 Y 7 1 *	1200bps	
 * % 0 Y 7 2 *	2400bps	
 * % 0 Y 7 3 *	4800bps	
 * % 0 Y 7 7 *	9600bps	
 * % 0 Y 7 4 *	19200bps	■
 * % 0 Y 7 5 *	38400bps	

3.3.2. データビット



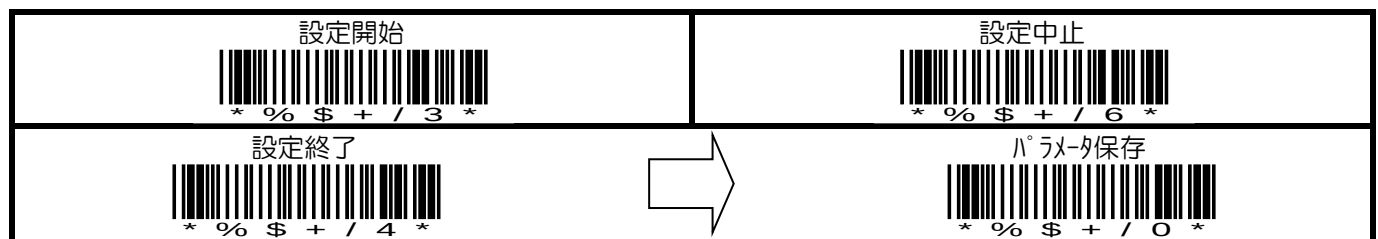
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 Y 8 0 *	7ビット	
 * % 0 Y 8 8 *	8ビット	■

3.3.3. ストップビット



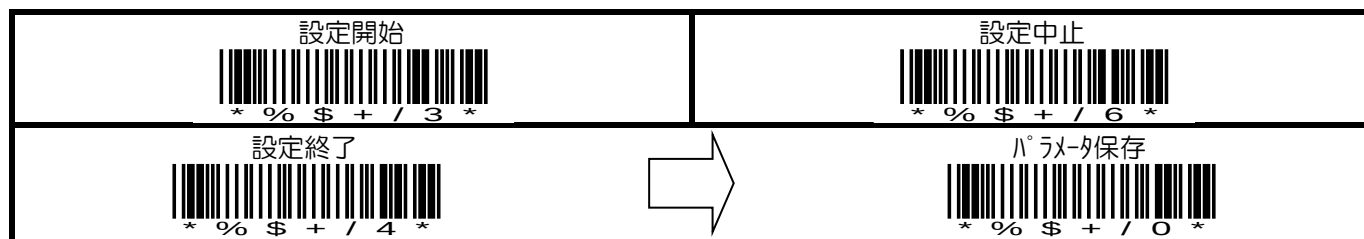
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 Y 0 8 *	1ビット	■
 * % 0 Y 0 0 *	2ビット	

3.3.4. パリティ



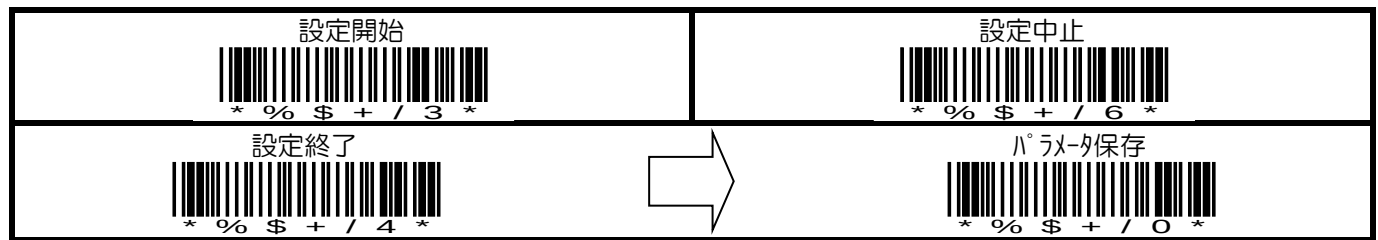
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 Y N 7 *	無し	■
 * % 0 Y N 2 *	偶数	
 * % 0 Y N 3 *	奇数	
 * % 0 Y N 1 *	マーク	
 * % 0 Y N 0 *	スペース	

3.3.5. ハンドシェイク



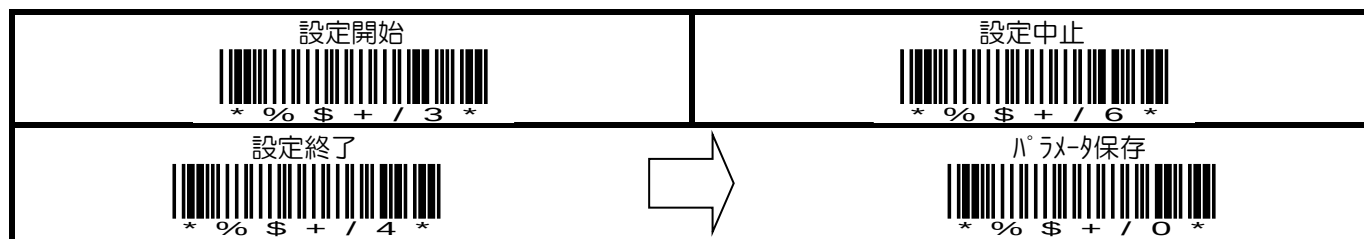
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 1 8 0 *	RTS/CTS 無し	■
 * % 0 1 8 8 *	RTS/CTS 有り	
 * % 0 1 4 0 *	ACK/NAK 無し	■
 * % 0 1 4 4 *	ACK/NAK 有り	
 * % 0 3 K 0 *	XON/XOFF 無し	■
 * % 0 3 K 4 *	XON/XOFF 有り	

3.4. ハットパラメータ



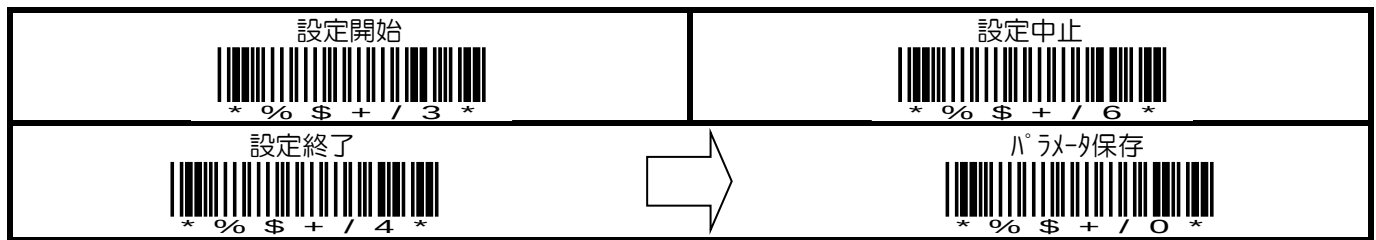
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 7 S 7 + *	無し	
 * % 7 S 2 + *	CR+LF	■
 * % 7 S 0 + *	CR	
 * % 7 S 1 + *	LF	
 * % 7 S 4 + *	λ ^o -λ	
 * % 7 S 3 + *	TAB	
 * % 7 S 5 + *	STX/ETX	

3.5. キャラクタ間デレイ



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 0 7 0 *	0 ミリ秒	■
 * % 0 0 7 1 *	5 ミリ秒	
 * % 0 0 7 2 *	10 ミリ秒	
 * % 0 0 7 3 *	25 ミリ秒	
 * % 0 0 7 4 *	50 ミリ秒	
 * % 0 0 7 5 *	100 ミリ秒	
 * % 0 0 7 6 *	200 ミリ秒	
 * % 0 0 7 7 *	300 ミリ秒	

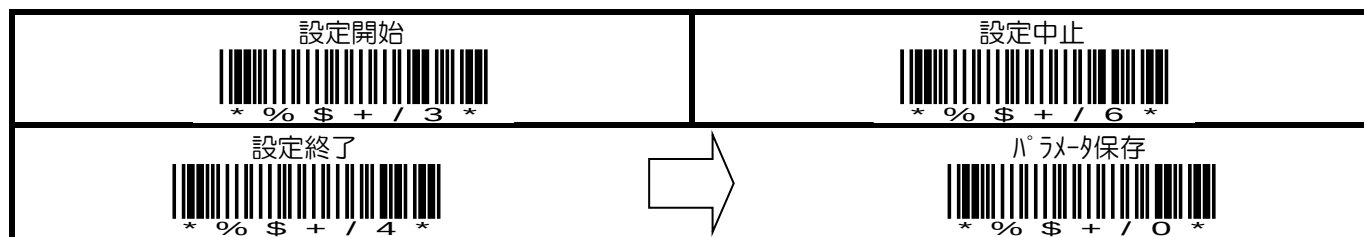
3.6. 読取モード



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 2 7 1 *	<u>グットリッドモード</u> トリガを押すと、読取 LED を点灯します。バーコードを読み取るか、約 2 秒間が経過すると消灯します。	■
 * % 0 2 7 0 *	<u>レーザモード</u> トリガを押している間、読取 LED を点灯し、バーコードを読み取ります。	
 * % 0 2 7 2 *	<u>コンティニアスモード (w/トリガ)</u> トリガを押すと、読取 LED を点灯し、連続してバーコードを読み取ります。再度トリガを押すと、読取 LED を消灯します。	
 * % 0 2 7 5 *	<u>ファストモード</u> ファストモードです。通常、業務では使用しません。	
 * % 0 2 7 3 *	<u>コンティニアスモード</u> 常時読取 LED を点灯し、バーコードを読み取ります。トリガを押す必要はありません。	
 * % 0 2 7 4 *	<u>フラッシングモード (w/トリガ)</u> トリガを押すと、フラッシングモードで動作します。再度トリガを押すと、読取 LED を消灯します。	
 * % 0 2 7 6 *	<u>フラッシングモード</u> フラッシングモードで動作します。トリガを押す必要はありません。	
 * % 0 9 F 8 *	<u>オートセンシングモード</u> オートセンシングモードで動作します。 <u>オートセンシングを搭載したモデルでのみ動作します。</u>	

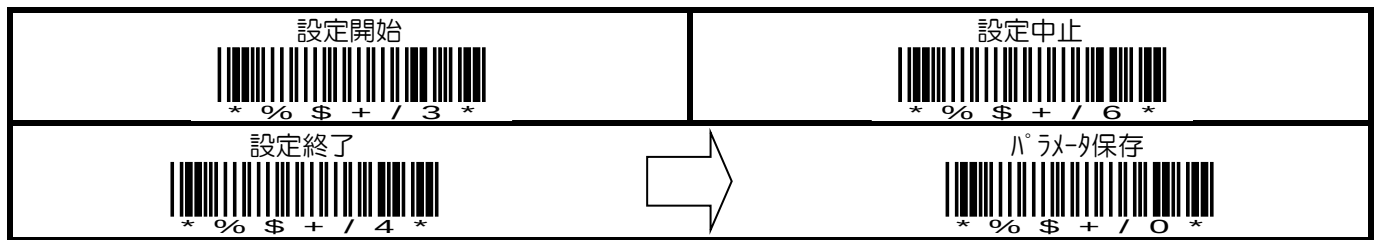
3.6.1. 同一コード読取デレイ

コンティニアスモード及びフラッシュバックモードで、同じコードの2度読みを防止するためのタイマーを設定します。



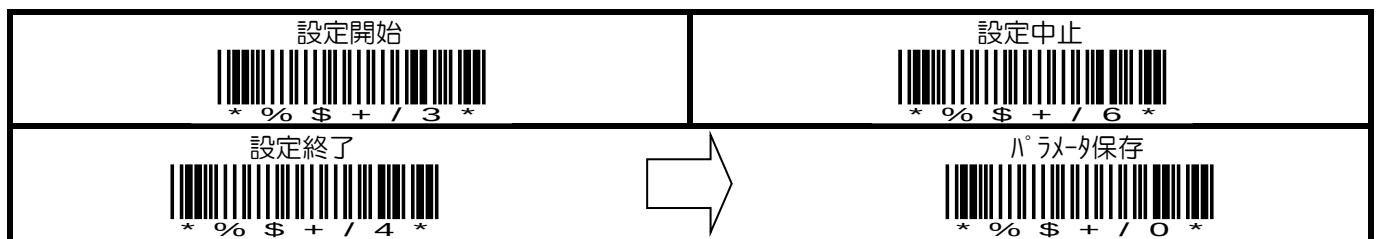
コマンドバーコード	説明	デフォルト
開始  * % 3 0 0 0 * 確定  * % 3 0 0 1 *	同一コード読取デレイ 左の開始コマンドバーコードをスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」で2桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコードをスキャンします。設定範囲は、0~50で、単位は100ミリ秒です。例えば、500ミリ秒に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「0」「5」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	3 (300ミリ秒)
数値バーコード表		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	

3.7. 初バーコード読み取り



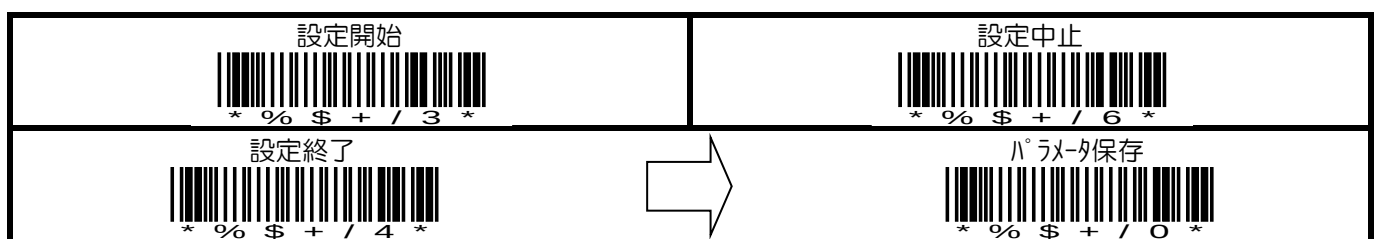
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 3 1 0 *	初バーコード読み取り無し	■
 * % 0 3 1 2 *	初バーコード読み取り有り(反転バーコード)	

3.8. 読取照合回数



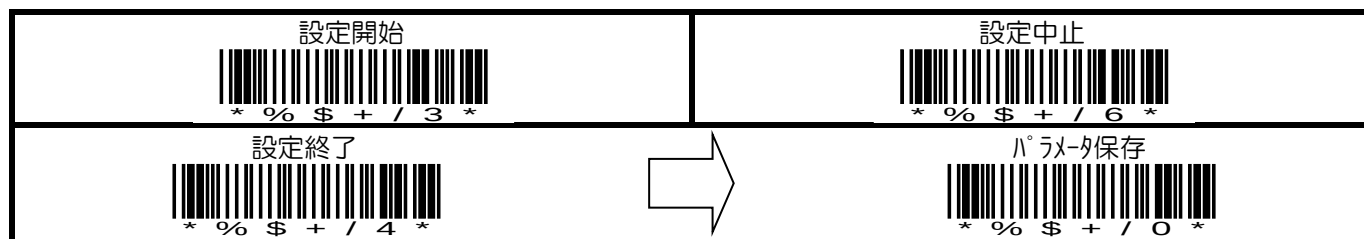
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 1 3 0 *	読取照合無し	■
 * % 0 1 3 1 *	読取照合 1 回	
 * % 0 1 3 2 *	読取照合 2 回	
 * % 0 1 3 3 *	読取照合 3 回	

3.9. 液晶読み取り最適化



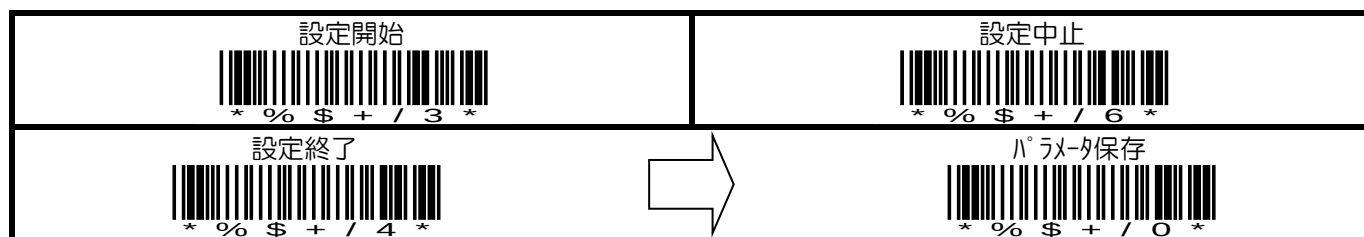
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 1 3 0 *	無し	
 * % 0 1 3 3 *	有り(SD380 シリーズでのみ有効です)	■

3.11. パワーオビーフ



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 4 J 1 *	低音	
 * % A 4 J 3 *	高音	■
 * % A 4 J 0 *	無し	

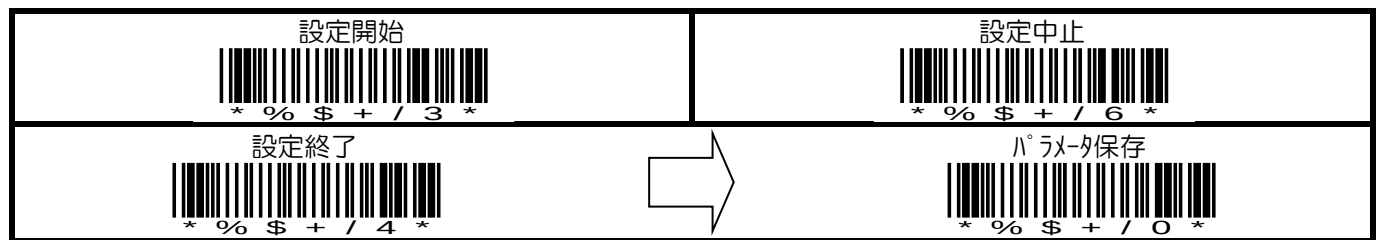
3.12. ステータスビーフ



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 1 J 3 *	高音	■
 * % 0 1 J 2 *	中音	
 * % 0 1 J 1 *	低音	
 * % 0 1 J 0 *	無し	

4. バージョンに関するパラメータ

4.1. UPC/EAN/JAN

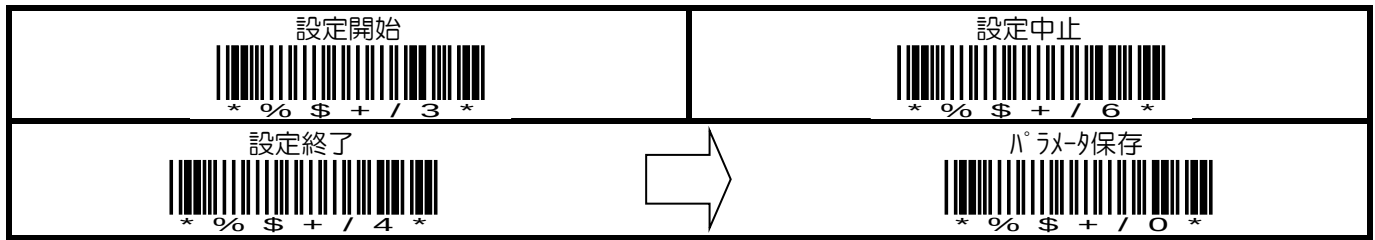


コマンドバージョン	説明	デフォルト
 * % 0 A 4 0 *	UPC-A 読み取り無し	
 * % 0 A 4 4 *	UPC-A 読み取り有り	■
 * % 0 B 0 0 *	UPC-E 読み取り無し	
 * % 0 B 0 8 *	UPC-E 読み取り有り	■
 * % 0 A 2 0 *	EAN/JAN/ISBN-13 読み取り無し	
 * % 0 A 2 2 *	EAN/JAN/ISBN-13 読み取り有り	■
 * % 0 A 1 0 *	EAN/JAN-8 読み取り無し	
 * % 0 A 1 1 *	EAN/JAN-8 読み取り有り	■
 * % 0 A K 0 *	UPC-A→EAN-13 変換無し	■
 * % 0 A K 4 *	UPC-A→EAN-13 変換有り	
 * % 0 B 8 0 *	ISBN 変換無し	■
 * % 0 B 8 8 *	ISBN 変換有り	
 * % 0 B 4 0 *	ISSN 変換無し	■
 * % 0 B 4 4 *	ISSN 変換有り	
 * % 0 1 0 8 *	アド必須読み取り無し(アド必須自動識別)	■
 * % 0 1 0 0 *	アド必須読み取り有り	

設定開始  * % \$ + / 3 *	設定中止  * % \$ + / 6 *
設定終了  * % \$ + / 4 *	パラメータ保存  * % \$ + / 0 *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 B H 0 *	拡張 UPC-E 無し	■
 * % 0 B H 1 *	拡張 UPC-E 有り	
 * % 0 A O 0 *	EAN-8→EAN-13 変換無し	■
 * % 0 A O 8 *	EAN-8→EAN-13 変換有り	
 * % 0 X 4 0 *	GTIN フォーマット無し	■
 * % 0 X 4 4 *	GTIN フォーマット有り	
 * % 0 B 3 3 *	アドカ送信無し	■
 * % 0 B 3 1 *	アドカ2 送信有り	
 * % 0 B 3 2 *	アドカ5 送信有り	
 * % 0 B 3 0 *	アドカ2&5 送信有り	
 * % 0 A I 0 *	UPC-A チェックビット送信無し	
 * % 0 A I 2 *	UPC-A チェックビット送信有り	■
 * % 0 B I 0 *	UPC-E チェックビット送信無し	
 * % 0 B I 2 *	UPC-E チェックビット送信有り	■
 * % 0 A 8 0 *	EAN-8 チェックビット送信無し	
 * % 0 A 8 8 *	EAN-8 チェックビット送信有り	■
 * % 0 A H 0 *	EAN-13 チェックビット送信無し	
 * % 0 A H 1 *	EAN-13 チェックビット送信有り	■

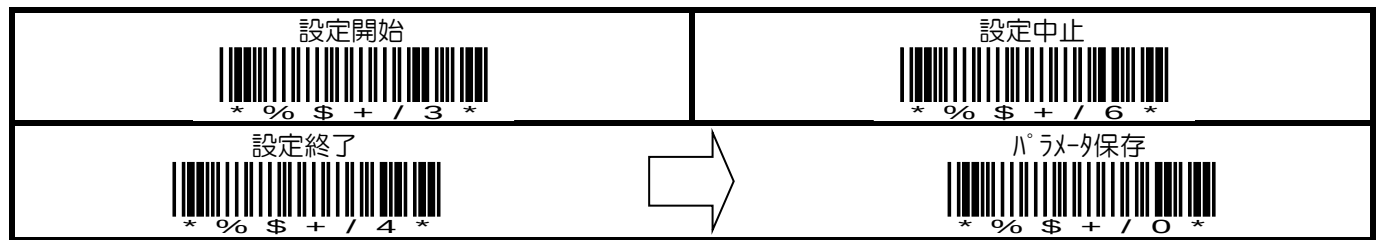
4.2. コード 39



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 E 0 0 *	コード 39 読み取り無し	
 * % 0 E 0 8 *	コード 39 読み取り有り	■
 * % 0 E H 1 *	FLASK-読み取り無し	■
 * % 0 E H 0 *	FLASK-読み取り有り	
 * % 0 E 8 0 *	イタリアフォーマット-コード 32 読み取り無し	■
 * % 0 E 8 8 *	イタリアフォーマット-コード 32 読み取り有り	
 * % 0 E M 2 *	チェックサム検査無し	■
 * % 0 E M 6 *	チェックサム検査有り/チェックサム送信有り	
 * % 0 E M 4 *	チェックサム検査有り/チェックサム送信無し	
 * % 0 E 4 0 *	スタート/ストップキャラクタ送信無し	■
 * % 0 E 4 4 *	スタート/ストップキャラクタ送信有り	

マシドバ-コード	説明	デフォルト
 * % 4 E 1 + *	読取桁数 可変長	■
開始  * % 4 E 0 0 * 確定  * % 4 E 0 1 *	<u>固定長読取桁数 1</u> 左の開始マシドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」マシドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 4 E 0 0 * 確定  * % 4 E 0 2 *	<u>固定長読取桁数 2</u> 左の開始マシドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」マシドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 2 + - / * 確定  * % 2 C 0 + *	<u>最小読取桁数</u> 左の開始マシドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」マシドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
数値バ-コード 表		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	

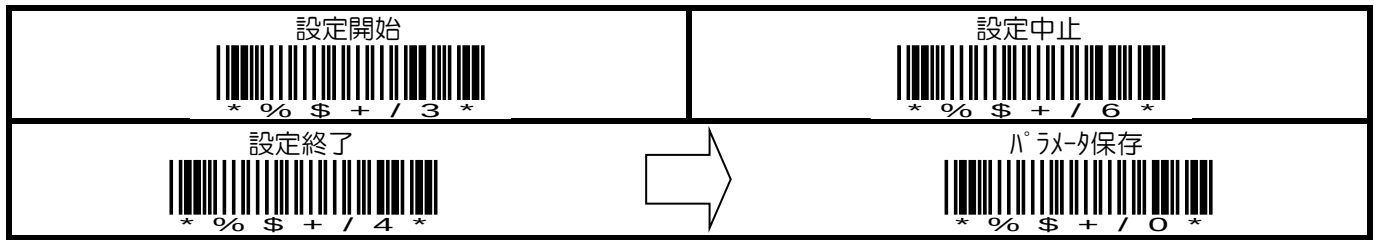
4.3. コード 128



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 F 0 0 *	コード 128 読み取り無し	
 * % 0 F 0 8 *	コード 128 読み取り有り	■
 * % 0 F 4 0 *	GS1-128 (UCC/EAN-128) 読み取り無し	■
 * % 0 F 4 4 *	GS1-128 (UCC/EAN-128) 読み取り有り	
 * % 0 F 2 0 *	]C1 送信無し	■
 * % 0 F 2 2 *	]C1 送信有り	
 * % 0 F 1 0 *	GS (グループセパレータ) 送信無し	■
 * % 0 F 1 1 *	GS (グループセパレータ) 有り	
 * % 0 F N 1 *	チェックサム検査無し	
 * % 0 F N 7 *	チェックサム検査有り/チェックサム送信有り	
 * % 0 F N 5 *	チェックサム検査有り/チェックサム送信無し	■
 * % 0 F 8 8 *	FNC2 連結無し	■
 * % 0 F 8 0 *	FNC2 連結有り	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 4 F 1 + *	読取桁数 可変長	■
開始  * % 4 F 0 0 * 確定  * % 4 F 0 1 *	<u>固定長読取桁数 1</u> 左の開始コマンドバーコード をスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 4 F 0 0 * 確定  * % 4 F 0 2 *	<u>固定長読取桁数 2</u> 左の開始コマンドバーコード をスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 2 + - / * 確定  * % 2 C 1 + *	<u>最小読取桁数</u> 左の開始コマンドバーコード をスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
数値バーコード表		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	

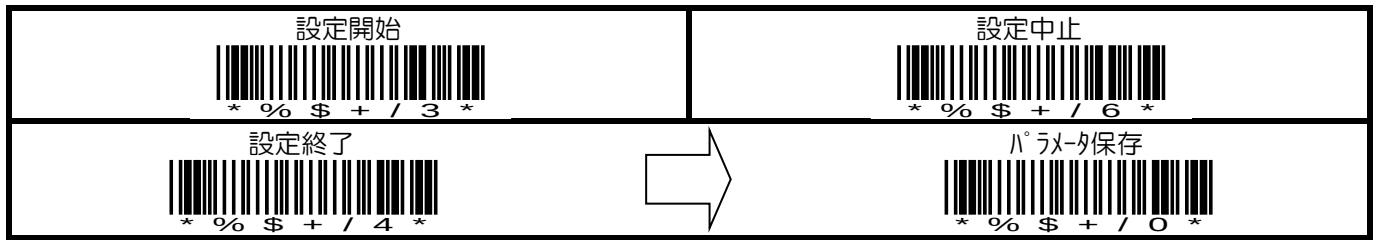
4.4. インターリーブド 25



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 G 0 0 *	インターリーブド 25 読み取り無し	
 * % 0 G 0 8 *	インターリーブド 25 読み取り有り	■
 * % 0 G N 3 *	チェックサム検査無し	■
 * % 0 G N 7 *	チェックサム検査有り/チェックサム送信有り	
 * % 0 G N 5 *	チェックサム検査有り/チェックサム送信無し	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 4 G 1 + *	読取桁数 可変長	■
開始  * % 4 G 0 0 * 確定  * % 4 G 0 1 *	<u>固定長読取桁数 1</u> 左の開始コマンドバーコード をスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 4 G 0 0 * 確定  * % 4 G 0 2 *	<u>固定長読取桁数 2</u> 左の開始コマンドバーコード をスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 2 + - / * 確定  * % 2 C 2 + *	<u>最小読取桁数</u> 左の開始コマンドバーコード をスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
数値バーコード表		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	

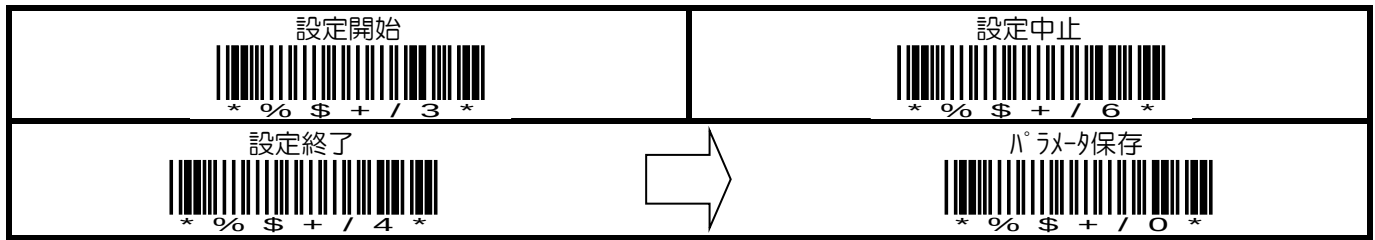
4.5. インターストリアル 25



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 H 0 0 *	インターストリアル 25 読み取り無し	■
 * % 0 H 0 8 *	インターストリアル 25 読み取り有り	
 * % 0 H 4 0 *	IATA25 読み取り無し	■
 * % 0 H 4 4 *	IATA25 読み取り有り	
 * % 0 H N 3 *	チェックサム検査無し	■
 * % 0 H N 7 *	チェックサム検査有り/チェックサム送信有り	
 * % 0 H N 5 *	チェックサム検査有り/チェックサム送信無し	

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 * % 4 H 1 + *	読取桁数 可変長	■
開始  * % 4 H 0 0 * 確定  * % 4 H 0 1 *	<u>固定長読取桁数 1</u> 左の開始コマンドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 4 H 0 0 * 確定  * % 4 H 0 2 *	<u>固定長読取桁数 2</u> 左の開始コマンドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 2 + - / * 確定  * % 2 C 3 + *	<u>最小読取桁数</u> 左の開始コマンドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
数値バ-コード表		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	

4.6. マトリクス 25



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 1 0 0 *	マトリクス 25 読み取り無し	■
 * % 0 1 0 8 *	マトリクス 25 読み取り有り	
 * % 0 1 N 3 *	チェックサムチェック無し	■
 * % 0 1 N 7 *	チェックサムチェック有り/チェックサム送信有り	
 * % 0 1 N 5 *	チェックサムチェック有り/チェックサム送信無し	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 4 1 1 + *	読取桁数 可変長	■
開始  * % 4 1 0 0 * 確定  * % 4 1 0 1 *	<u>固定長読取桁数 1</u> 左の開始コマンドバーコード をスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 4 1 0 0 * 確定  * % 4 1 0 2 *	<u>固定長読取桁数 2</u> 左の開始コマンドバーコード をスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 2 + - / * 確定  * % 2 C 4 + *	<u>最小読取桁数</u> 左の開始コマンドバーコード をスキャンした後、続けて、「数値バーコード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
数値バーコード表		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	

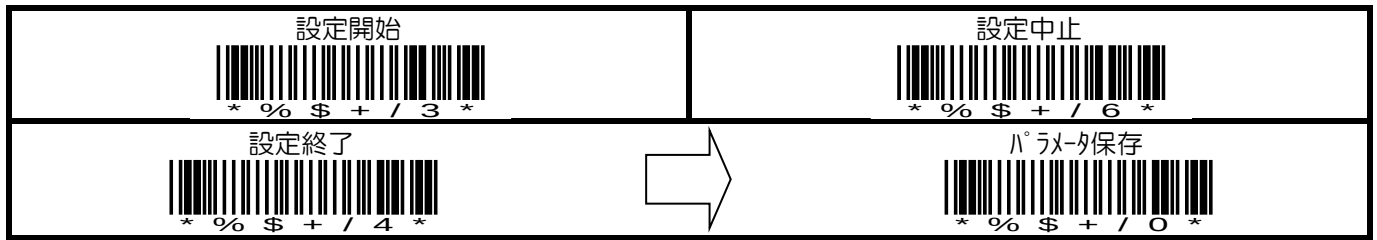
4.7. NW7(コマバ)

設定開始  * % \$ + / 3 *	設定中止  * % \$ + / 6 *
設定終了  * % \$ + / 4 *	パラメータ保存  * % \$ + / 0 *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 J 0 0 *	NW7 読み取り無し	
 * % 0 J 0 8 *	NW7 読み取り有り	■
 * % 0 J H 0 *	スタート/ストップ キャラクタ送信無し	■
 * % 0 J H 1 *	スタート/ストップ キャラクタ送信有り	
 * % 0 4 V F *	スタートキャラクタ ABCD	■
 * % 0 4 V 1 *	スタートキャラクタ A	
 * % 0 4 V 2 *	スタートキャラクタ B	
 * % 0 4 V 4 *	スタートキャラクタ C	
 * % 0 4 V 8 *	スタートキャラクタ D	
 * % 0 4 F F *	ストップ キャラクタ ABCD	■
 * % 0 4 F 1 *	ストップ キャラクタ A	
 * % 0 4 F 2 *	ストップ キャラクタ B	
 * % 0 4 F 4 *	ストップ キャラクタ C	
 * % 0 4 F 8 *	ストップ キャラクタ D	

マシドバ-コード	説明	デフォルト
 * % 4 J 1 + *	読取桁数 可変長	■
開始  * % 4 J 0 0 * 確定  * % 4 J 0 1 *	<u>固定長読取桁数 1</u> 左の開始マシドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」マシドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 4 J 0 0 * 確定  * % 4 J 0 2 *	<u>固定長読取桁数 2</u> 左の開始マシドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」マシドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 2 + - / * 確定  * % 2 C 5 + *	<u>最小読取桁数</u> 左の開始マシドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」マシドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	
数値バ-コード表		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	

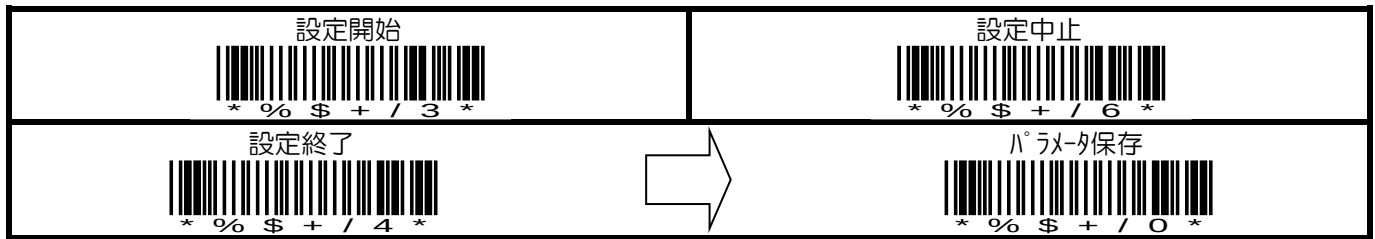
4.8. コード 93



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 K 0 0 *	コード 93 読み取り無し	■
 * % 0 K 0 8 *	コード 93 読み取り有り	
 * % 0 K N 3 *	チェックビット検査無し	
 * % 0 K N 4 *	2 チェックビット検査有り/チェックビット送信無し	■

コマンドバ-コード	説明	デ-フォルト
 * % 4 K 1 + *	読取桁数 可変長	■
開始  * % 4 K 0 0 * 確定  * % 4 K 0 1 *	<u>固定長読取桁数 1</u> 左の開始コマンドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメ-タ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 4 K 0 0 * 確定  * % 4 K 0 2 *	<u>固定長読取桁数 2</u> 左の開始コマンドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメ-タ保存」の順でスキャンします。	
開始  * % 2 + - / * 確定  * % 2 C 6 + *	<u>最小読取桁数</u> 左の開始コマンドバ-コード をスキャンした後、続けて、「数値バ-コード表」で 2 桁をスキャンし、最後に「確定」コマンドバ-コード をスキャンします。設定範囲は、1~99 です。例えば、10 に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「0」「確定」「設定終了」「パラメ-タ保存」の順でスキャンします。	
数値バ-コード表		
0  * 0 *	1  * 1 *	
2  * 2 *	3  * 3 *	
4  * 4 *	5  * 5 *	
6  * 6 *	7  * 7 *	
8  * 8 *	9  * 9 *	

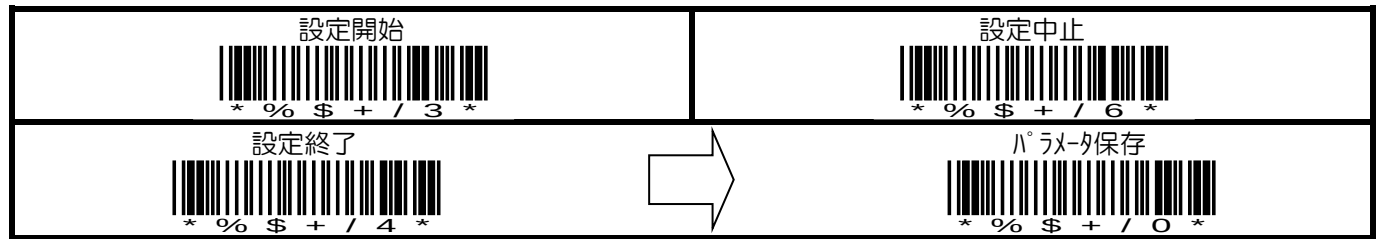
4.9. MSI/Plessey



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 N 0 0 *	MSI/Plessey 読み取り無し	■
 * % 0 N 0 8 *	MSI/Plessey 読み取り有り	
 * % 0 N N 3 *	チェックサム検査無し	
 * % 0 N N 7 *	チェックサム検査無し/チェックサム送信有り	
 * % 0 N N 5 *	チェックサム検査有り/チェックサム送信無し	■

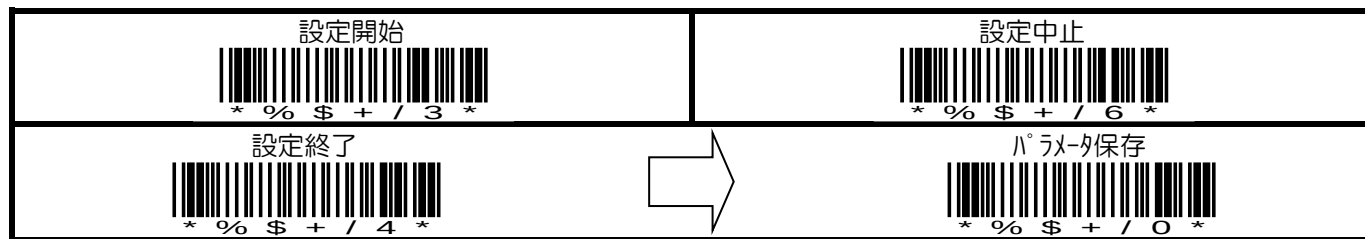
マシドバ-コード	説明	デフォルト

4.10. GS1 Databar Omnidirectional



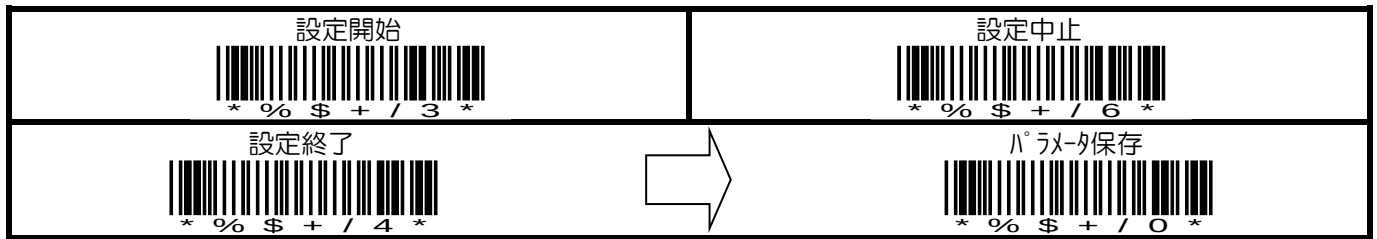
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 U 0 0 *	GS1 Databar Omnidirectional 読み取り無し	■
 * % 0 U 0 8 *	GS1 Databar Omnidirectional 読み取り有り	
 * % 0 U N 5 *	チェックサム送信無し	
 * % 0 U N 7 *	チェックサム送信有り	■
 * % 0 U 8 0 *	アプリケーション ID 送信無し	
 * % 0 U 8 8 *	アプリケーション ID 送信有り	■
 * % 0 U 4 0 *	シンボル ID (Je0) 送信無し	■
 * % 0 U 4 4 *	シンボル ID (Je0) 送信有り	

4.11. GS1 Databar Limited



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 V 0 0 *	GS1 Databar Limited 読み取り無し	■
 * % 0 V 0 8 *	GS1 Databar Limited 読み取り有り	
 * % 0 V N 5 *	チェックサム送信無し	
 * % 0 V N 7 *	チェックサム送信有り	■
 * % 0 V 8 0 *	アプリケーション ID 送信無し	
 * % 0 V 8 8 *	アプリケーション ID 送信有り	■
 * % 0 V 4 0 *	シンボル ID (Je0) 送信無し	■
 * % 0 V 4 4 *	シンボル ID (Je0) 送信有り	

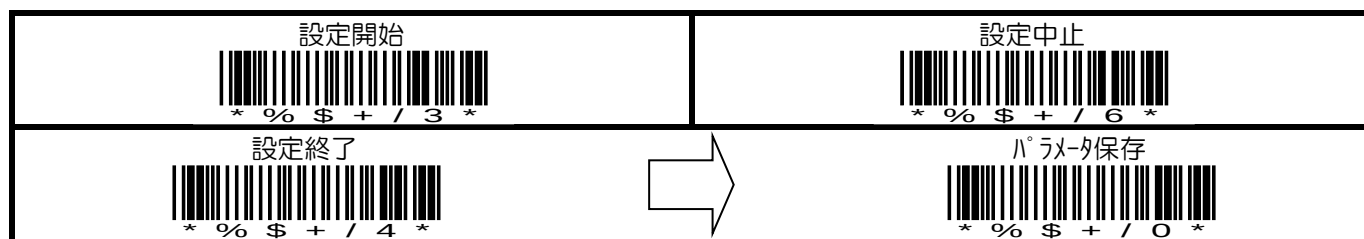
4.12. GS1 Databar Expanded



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 W 0 0 *	GS1 Databar Expanded 読み取り無し	■
 * % 0 W 0 8 *	GS1 Databar Expanded 読み取り有り	
 * % 0 W 4 0 *	シンボル ID (Je0) 送信無し	■
 * % 0 W 4 4 *	シンボル ID (Je0) 送信有り	

5. データフォーマット

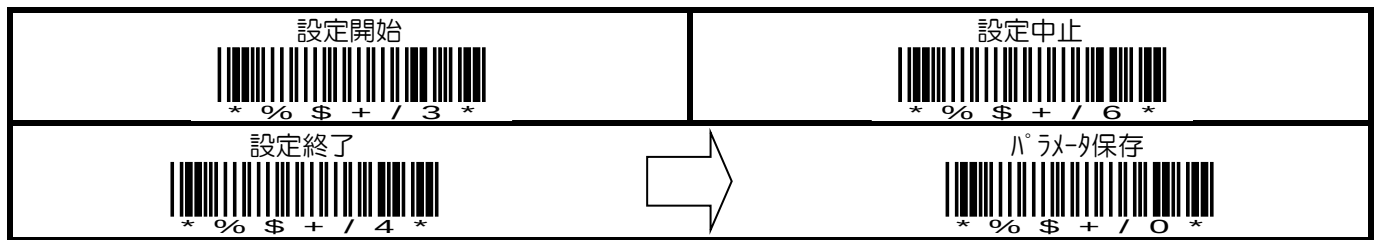
5.1. コード ID



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % 0 0 H 0 *	コード ID 送信無し	■
 * % 0 0 H 1 *	コード ID 送信有り	
 * % 9 1 3 + *	デフォルトコード ID	

デフォルトコード ID 表			
コードタイプ	コード ID	コードタイプ	コード ID
UPC-A	A	UPC-E	B
EAN-8	C	EAN-13	D
コード 39	E	コード 128	F
インターリーブド 25	G	インターストリアル 25	H
マトリクス 25	I	NW7(コードバー)	J
コード 93	K	コード 11	L
チャイボースト	M	MSI/Plessey	N
コード 26	P	LCD25	Q
Telepen	T	GS1 Databar Omnidirectional	U
GS1 Databar Limited	V	GS1 Databar Expanded	W

5.2. 1D -コード ID



1D -コード	説明	デフォルト
 * % 9 1 A + *	UPC-A 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 B + *	UPC-E 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 Y + *	EAN-13/JAN-13 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 Z + *	EAN-8/JAN-8 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 E + *	コード 39 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 F + *	コード 128 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 J + *	NW7 (コード バー) 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 G + *	インターリーブド 25 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 H + *	インダストリアル 25 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 I + *	マトリクス 25 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 K + *	コード 93 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 L + *	コード 11 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 M + *	フェイス 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 N + *	MSI/Plessey 左の1D -コード をスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII パ -コード 表」から設定したいコード ID をスキャンします。	

マシナバコード	説明	デフォルト
 * % 9 1 P + *	<u>コード 26</u> 左のマシナバコードをスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII バ コード表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 T + *	<u>Telepen</u> 左のマシナバコードをスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII バ コード表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 Q + *	<u>LCD25</u> 左のマシナバコードをスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII バ コード表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 U + *	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> 左のマシナバコードをスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII バ コード表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 V + *	<u>GS1 Databar Limited</u> 左のマシナバコードをスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII バ コード表」から設定したいコード ID をスキャンします。	
 * % 9 1 W + *	<u>GS1 Databar Expanded</u> 左のマシナバコードをスキャンした後、続けて、「補足 A. ASCII バ コード表」から設定したいコード ID をスキャンします。	

5.3. キャラクタ挿入

読取バーコードデータの任意の位置に 8 文字までのキャラクタ(ファンクションキーを含む)を挿入し、PC へ送信します。キャラクタ挿入設定は、セッ 1~6 までの 6 セットを登録することができます。

設定手順

1. キャラクタ挿入セッ 1~6 をスキャンします。
2. 「シボ ルタイプ」表から適用したいシボ ルタイプ をスキャンします。
3. 「数値バーコード」表から挿入位置をスキャンし、最後に「挿入位置確定」をスキャンします。
4. 「補足 A. ASCII バーコード」表及び「補足 B. ファンクションキーバーコード」表で挿入したいキャラクタを 8 文字以内でスキャンし、最後に「キャラクタ確定」をスキャンします。

例えば、全シボ ルの読取バーコードデータの先頭に@@@を挿入したい場合、「設定開始」「キャラクタ挿入セッ 1」「全シボ ル」「1」「挿入位置確定」「@」「@」「@」「キャラクタ確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。キャラクタ挿入セッをクリアしたい場合は、「設定開始」「キャラクタ挿入セッ 1」「シボ ル無し」「挿入位置確定」「キャラクタ確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。

設定開始  * % \$ + / 3 *	設定中止  * % \$ + / 6 *
設定終了  * % \$ + / 4 *	パラメータ保存  * % \$ + / 0 *

キャラクタ挿入セッ 1  * % 5 0 0 + *	キャラクタ挿入セッ 2  * % 5 0 1 + *
キャラクタ挿入セッ 3  * % 5 0 2 + *	キャラクタ挿入セッ 4  * % 5 0 3 + *
キャラクタ挿入セッ 5  * % 5 0 4 + *	キャラクタ挿入セッ 6  * % 5 0 5 + *
挿入位置確定  * % 5 2 0 + *	キャラクタ確定  * % 5 3 0 + *
数値バーコード 表	
0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *

ｼﾝﾎﾞﾙﾀｲﾌﾟ 表			
ｼﾝﾎﾞﾙ無し  * % 5 1 4 + *	 * % 5 1 S + * 全ｼﾝﾎﾞﾙ	UPC-A  * % 5 1 A + *	 * % 5 1 B + * UPC-E
EAN-13/JAN-13  * % 5 1 Y + *	 * % 5 1 Z + * EAN-8/JAN-8	ｼｰﾄﾞ 39  * % 5 1 E + *	 * % 5 1 F + * ｼｰﾄﾞ 128
NW7  * % 5 1 J + *	 * % 5 1 G + * ｲﾝﾀｰﾌﾟﾘﾝﾄ 25	ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ 25  * % 5 1 H + *	 * % 5 1 I + * ﾏﾄﾘｸｽ 25
ｼｰﾄﾞ 93  * % 5 1 K + *	 * % 5 1 L + * ｼｰﾄﾞ 11	ﾁｬｲﾎﾞｽﾄ  * % 5 1 M + *	 * % 5 1 N + * MSI/Plessey
ｼｰﾄﾞ 26  * % 5 1 P + *	 * % 5 1 T + * Telepen	LCD25  * % 5 1 Q + *	 * % 5 1 U + * GS1 Databar Omnidirectional
GS1 Databar Limited  * % 5 1 V + *	 * % 5 1 W + * GS1 Databar Expanded		

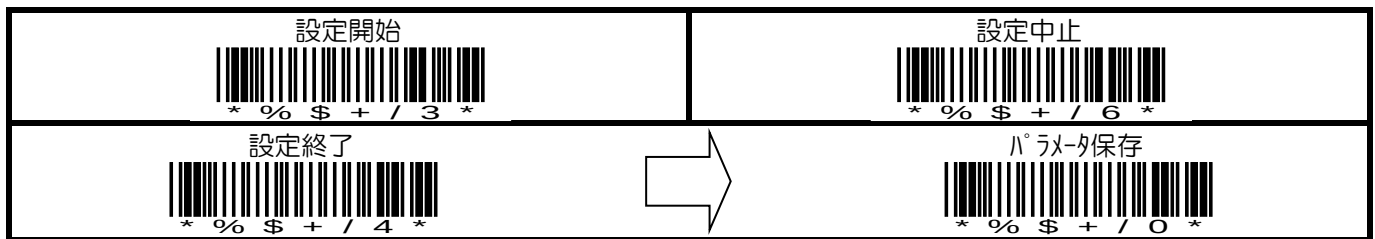
5.3. キャラクタ削除

読取バーコードデータの任意の位置から指定桁数を削除して、PC へ送信します。キャラクタ削除設定は、セット 1~6 までの 6 セットを登録することができます。

設定手順

1. キャラクタ削除セット 1~6 をスキャンします。
2. 「シボタイプ表」から適用したいシボタイプをスキャンします。
3. 「数値バーコード表」から削除開始位置をスキャンし、最後に「削除開始位置確定」をスキャンします。
4. 「数値バーコード表」から削除桁数をスキャンし、最後に「削除桁数確定」をスキャンします。

例えば、全シボルの読取バーコードデータの先頭に@@@を挿入したい場合、「設定開始」「キャラクタ挿入セット 1」「全シボル」「1」「挿入位置確定」「@」「@」「@」「キャラクタ確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。キャラクタ挿入セットをクリアしたい場合は、「設定開始」「キャラクタ挿入セット 1」「シボル無し」「挿入位置確定」「キャラクタ確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。



キャラクタ削除セット 1  * % 8 0 0 + *	キャラクタ削除セット 2  * % 8 0 1 + *
キャラクタ削除セット 3  * % 8 0 2 + *	キャラクタ削除セット 4  * % 8 0 3 + *
キャラクタ削除セット 5  * % 8 0 4 + *	キャラクタ削除セット 6  * % 8 0 5 + *
削除開始位置確定  * % 8 2 0 + *	削除桁数確定  * % 8 3 0 + *
数値バーコード表	
0  * 0 *	1  * 1 *
2  * 2 *	3  * 3 *
4  * 4 *	5  * 5 *
6  * 6 *	7  * 7 *
8  * 8 *	9  * 9 *

ｼﾝﾎﾞﾙﾀｲﾌﾟ 表			
ｼﾝﾎﾞﾙ無し  * % 8 1 4 + *	 * % 8 1 S + * 全ｼﾝﾎﾞﾙ	UPC-A  * % 8 1 A + *	 * % 8 1 B + * UPC-E
EAN-13/JAN-13  * % 8 1 Y + *	 * % 8 1 Z + * EAN-8/JAN-8	ｼｰﾄﾞ 39  * % 8 1 E + *	 * % 8 1 F + * ｼｰﾄﾞ 128
NW7  * % 8 1 J + *	 * % 8 1 G + * ｲﾝﾀｰﾍﾟｲﾝﾄ 25	ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙ 25  * % 8 1 H + *	 * % 8 1 I + * ﾏﾄﾘｸｽ 25
ｼｰﾄﾞ 93  * % 8 1 K + *	 * % 8 1 L + * ｼｰﾄﾞ 11	ﾁｬｲﾎﾟｽﾄ  * % 8 1 M + *	 * % 8 1 N + * MSI/Plessey
ｼｰﾄﾞ 26  * % 8 1 P + *	 * % 8 1 T + * Telepen	LCD25  * % 8 1 Q + *	 * % 8 1 U + * GS1 Databar Omnidirectional
GS1 Databar Limited  * % 8 1 V + *	 * % 8 1 W + * GS1 Databar Expanded		

6. Bluetooth

設定開始  * % \$ + / 3 *	設定中止  * % \$ + / 6 *
設定終了  * % \$ + / 4 *	パラメータ保存  * % \$ + / 0 *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % + \$ 0 0 0 C \$ *	Bluetooth 全パラメータデフォルト	

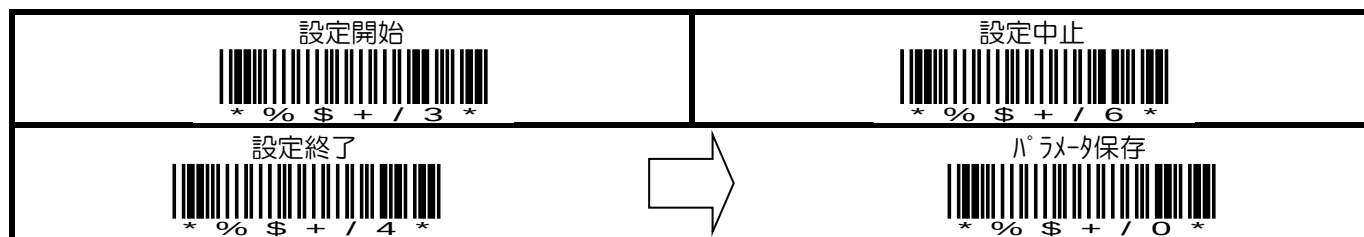
6.1. プロファイル

SPP マスターモード 1(専用クレードル)

設定開始  * % \$ + / 3 *	設定中止  * % \$ + / 6 *
設定終了  * % \$ + / 4 *	パラメータ保存  * % \$ + / 0 *

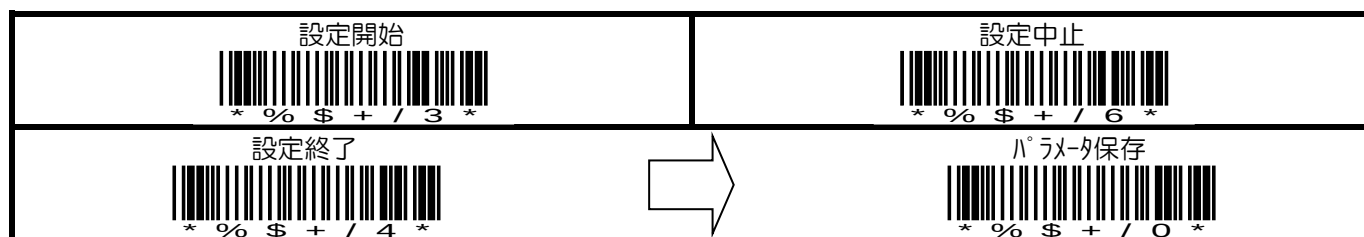
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 1 J 3 *	SPP マスターモード 「設定開始」→「SPP マスターモード 1」→「設定終了」→「パラメータ保存」の順でスキャンすることで、SPP マスターモードに設定できます。続けて、クレードル裏面の MAC アドレスバーコードをスキャンします。MAC アドレスバーコードをスキャンすると、リーダーは、緑色 LED 一回点滅とブザー 3 回を鳴動します。接続が確立すると、リーダーはピピピとブザーを鳴動し、青色 LED を 10 点滅させ、クレードルの LED が青色常時点灯します。<u>接続の確立には、10 秒程度要します。</u> MAC アドレスバーコード例  * % + \$ 0 0 1 C 9 7 1 5 A D 2 E *	

SPP マスターモード 2(専用クルートル以外、市販ドングルなど)



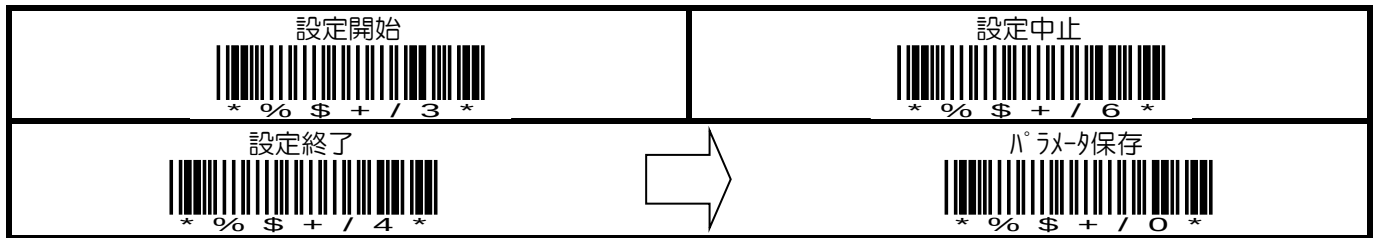
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 1 J 4 *	SPP マスターモード 2 「設定開始」→「SPP マスターモード 2」→「MAC アドレスバーコード」→「設定終了」→「パラメータ保存」の順でスキャンすることで、SPP マスターモードに設定できます。 MAC アドレスバーコードの作成方法 接続したい MAC アドレスの前に「%+\$」付加して、コード 39 でエンコードします。 MAC アドレスバーコード例  * % + \$ 0 0 1 C 9 7 1 5 A D 2 E *	

SPP スLEEP モード



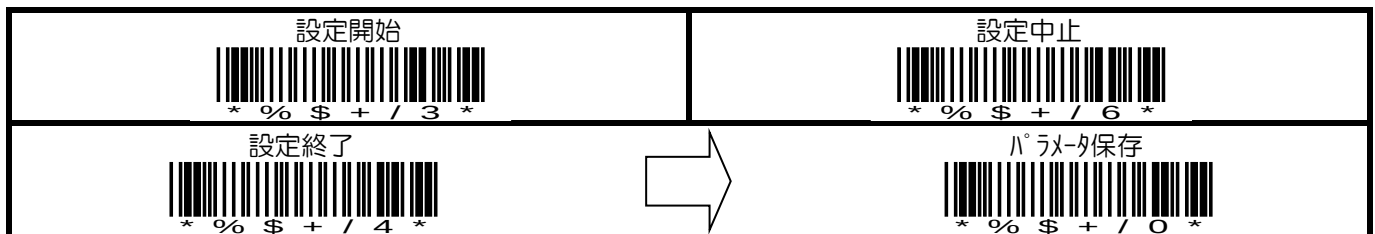
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 1 J 2 *	SPP スLEEP モード 「設定開始」→「SPP スLEEP モード」→「設定終了」→「パラメータ保存」の順でスキャンすることで、SPP スLEEP モードに設定できます。マスターデバイスで検索して、ペアリングを行ってください。デフォルトの PIN コードは、「000000」です。接続が確立すると、リーダはビープを鳴動し、青色 LED を20点滅させます。	

HID モード



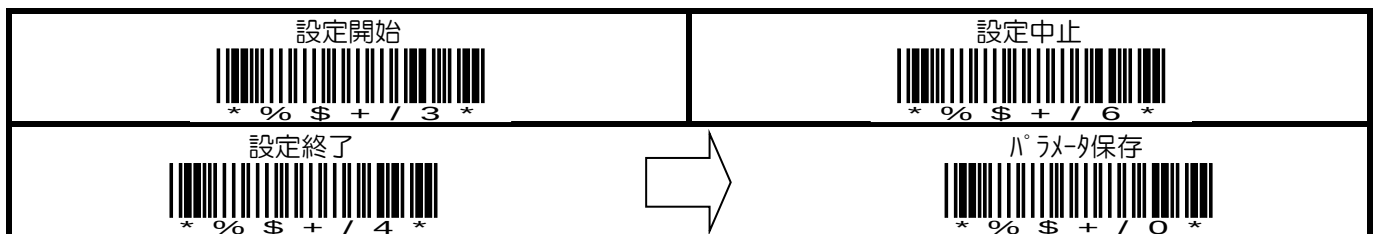
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 1 J 0 *	HID モード 「設定開始」→「HID モード」→「設定終了」→「パラメータ保存」の順でスキャンすることで、HID モードに設定できます。マスターデバイスで検索して、アプリケーションを行ってください。PIN コード入力が必要な場合は、「補足 A. ASCII バージョン表」を使って、PIN コードをスキャンします。接続が確立すると、リーダーはピコ-とビープを鳴動し、青色 LED を 20 点滅させます。	

PIN コードの設定



コマンドバーコード	説明	デフォルト
開始  * % + \$ 0 0 0 F \$ * 確定  * % + \$ 0 0 0 G \$ *	PIN コードの設定 左の開始コマンドバーコードをスキャンした後、続けて、補足 A.「ASCII バージョン表」の 0-9, A-Z を使って、最大 6 桁の PIN コードをスキャンし、最後に「確定」コマンドバーコードをスキャンします。例えば、123ABC に設定したい場合は、「設定開始」「開始」「1」「2」「3」「A」「B」「C」「確定」「設定終了」「パラメータ保存」の順でスキャンします。	000000

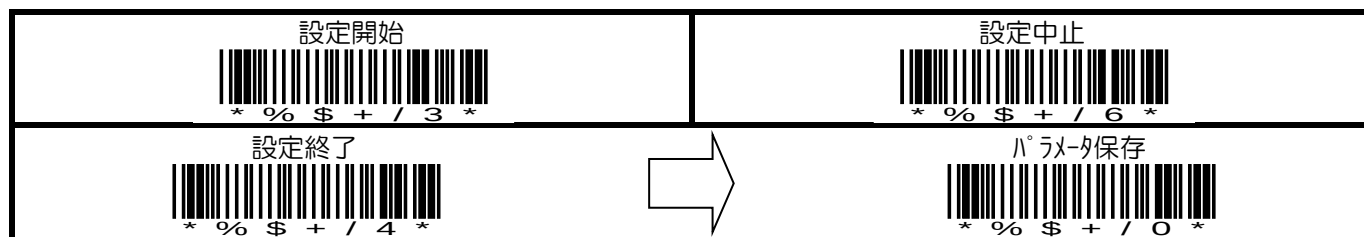
6.2. クレジット ID 表示



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 2 8 0 *	有効	■
 * % A 2 8 1 *	無効	

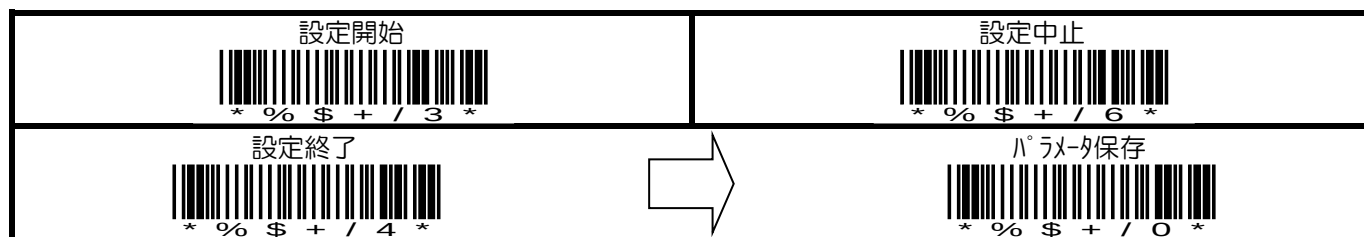
6.3. 自動再接続

HIDモードで有効な機能で、通信圏外から復帰すると、自動的に再接続を行います。



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 1 8 8 *	有効	■
 * % A 1 8 0 *	無効	

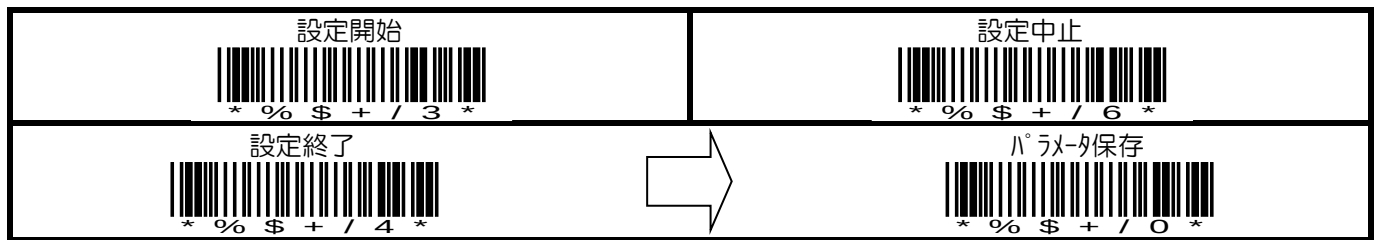
6.4. 通信圏外メモリ機能



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 1 4 4 *	有効 通信圏外の場合、読取データをメモリに保存し、通信圏内に復帰すると、メモリ内のデータを送信し、メモリをクリアします。	■
 * % A 1 4 0 *	無効 通信圏外で読み取ったデータは、エラーメッセージを鳴動し、破棄します。	
 * % A 4 K 0 *	メモリデータをトリガキーで送信 通信圏内に復帰した後、トリガキーを押下で、メモリ内のデータを送信します。	■
 * % A 4 K 4 *	メモリデータを自動送信 通信圏内に復帰した後、メモリ内のデータを自動的に送信します。	

6.5. iOS ソフトウェアキーボード表示切替

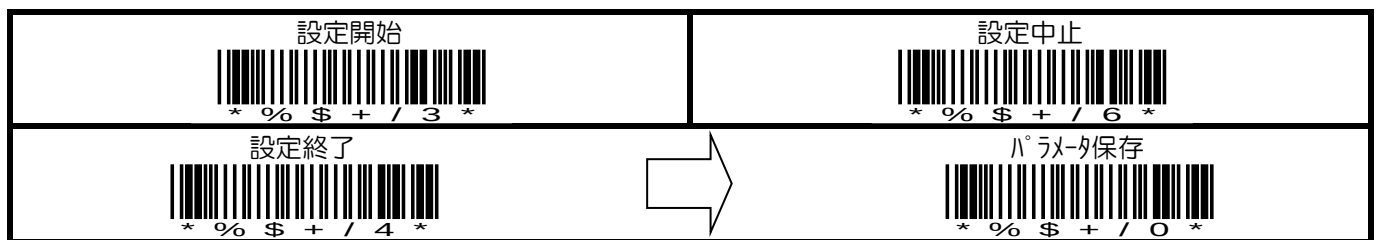
トリガキーのダブルクリックでソフトウェアキーボードの表示/非表示を切り替えることができます。



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 4 0 8 *	有効	■
 * % A 4 0 0 *	無効	

6.6. スリープモード

指定時間操作が行われないと、リーダーはスリープモードに移行し、トリガキーを押すと、復帰します。



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 2 7 2 *	1 分	
 * % A 2 7 3 *	10 分	
 * % A 2 7 0 *	無し	■

6.7. メモリモード

設定開始  * % \$ + / 3 *	設定中止  * % \$ + / 6 *
設定終了  * % \$ + / 4 *	パラメータ保存  * % \$ + / 0 *

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 * % A 1 0 8 *	メモリモード ON	
 * % A 1 0 0 *	メモリモード OFF	■

以下のコマンドバーコードは、シングルキャンで動作します。「設定開始」「設定終了」は必要ありません。

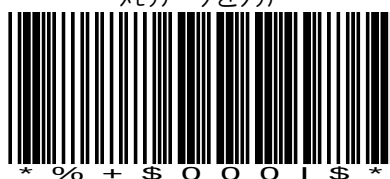
メモリータを送信(メモリータはクリアされません)



最後のメモリータを削除



メモリータをクリア



6.8. システムコマンド

リーダーファームウェアバージョン  * % + \$ 0 0 0 K \$ *	クレードルファームウェアバージョン  * % + \$ 0 0 0 Y \$ *
リーダー MAC アドレス  * % + \$ 0 0 0 L \$ *	クレードル MAC アドレス  * % + \$ 0 0 1 P \$ *

補足 A. ASCII バージョント 表

ASCII バージョント 表			
NULL  * 0 0 *	* 0 1 * SOH 	STX  * 0 2 *	 * 0 3 * ETX
EOT  * 0 4 *	 * 0 5 * ENQ	ACK  * 0 6 *	 * 0 7 * BEL
BS  * 0 8 *	 * 0 9 * HT	LF  * 0 A *	 * 0 B * VT
FF  * 0 C *	 * 0 D * CR	SO  * 0 E *	 * 0 F * SI
DLE  * 1 0 *	 * 1 1 * DC1	 * 1 2 *	 * 1 3 * DC3
DC4  * 1 4 *	 * 1 5 * NAK	SYN  * 1 6 *	 * 1 7 * ETB
CAN  * 1 8 *	 * 1 9 * EM	SUB  * 1 A *	 * 1 B * ESC
FS  * 1 C *	 * 1 D * GS	RS  * 1 E *	 * 1 F * US
スペース  * 2 0 *	 * 2 1 * !	 * 2 2 *	 * 2 3 * #
\$  * 2 4 *	 * 2 5 * %	 * 2 6 *	 * 2 7 * ,
( * 2 8 *	 * 2 9 *)	*  * 2 A *	 * 2 B * +

ASCII 半角コード表			
 * 2 C *	 * 2 D * -	 * 2 E *	 * 2 F * /
 * 3 0 *	 * 3 1 * 1	 * 3 2 *	 * 3 3 * 3
 * 3 4 *	 * 3 5 * 5	 * 3 6 *	 * 3 7 * 7
 * 3 8 *	 * 3 9 * 9	 * 3 A *	 * 3 B * ;
 * 3 C *	 * 3 D * =	 * 3 E *	 * 3 F * ?
 * 4 0 *	 * 4 1 * A	 * 4 2 *	 * 4 3 * C
 * 4 4 *	 * 4 5 * E	 * 4 6 *	 * 4 7 * G
 * 4 8 *	 * 4 9 * I	 * 4 A *	 * 4 B * K
 * 4 C *	 * 4 D * M	 * 4 E *	 * 4 F * O
 * 5 0 *	 * 5 1 * Q	 * 5 2 *	 * 5 3 * S
 * 5 4 *	 * 5 5 * U	 * 5 6 *	 * 5 7 * W

ASCIIハ-コト表			
X  * 5 8 *	 * 5 9 * Y	Z  * 5 A *	 * 5 B * [
¥  * 5 C *	 * 5 D *]	^  * 5 E *	 * 5 F * —
`  * 6 0 *	 * 6 1 * a	b  * 6 2 *	 * 6 3 * c
d  * 6 4 *	 * 6 5 * e	f  * 6 6 *	 * 6 7 * g
h  * 6 8 *	 * 6 9 * i	j  * 6 A *	 * 6 B * k
l  * 6 C *	 * 6 D * m	n  * 6 E *	 * 6 F * o
p  * 7 0 *	 * 7 1 * q	r  * 7 2 *	 * 7 3 * s
t  * 7 4 *	 * 7 5 * u	v  * 7 6 *	 * 7 7 * w
X  * 7 8 *	 * 7 9 * y	Z  * 7 A *	 * 7 B * {
I  * 7 C *	 * 7 D * }	~  * 7 E *	 * 7 F * DEL

補足 B. ファンクションキーコード表

ファンクションキーコード表			
F1  * C 0 *	 * C 1 * F2	F3  * C 2 *	 * C 3 * F4
F5  * C 4 *	 * C 5 * F6	F7  * C 6 *	 * C 7 * F8
F9  * C 8 *	 * C 9 * F10	F11  * C A *	 * C B * F12
Insert  * C C *	 * C D * Delete	Home  * C E *	 * C F * Page Up
Page Down  * D 0 *	 * D 1 * End	←  * D 2 *	 * D 3 * →
 ↑ * D 4 *	 * D 5 * ↓		

補足 C. ASCII コード 表

ASCII コード 表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NULL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	I	y
A	LF	SUM	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	—	o	

Blank page

補足 D. サンプルコード

コード 39



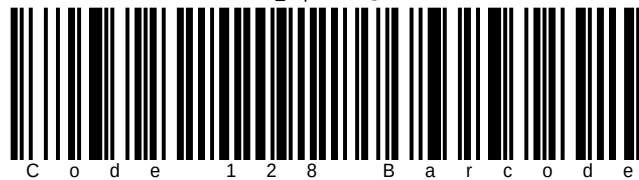
JAN-13



インタープット 2/5 (ITF)



コード 128



GS1-128



GS1 Databar イクスパンデッド



修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全て「パック」方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

弊社での修理は、ユニット（モジュール）単位の動作不良報告及び交換を行っています。故障原因調査・解析の報告は行っておりませんの、予め、ご了承ください。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		F A X 番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番（名称）			
製造番号（S/N）			
付属品	ケーブル[]・ACアダプタ		
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。			
症状発生頻度 : ☐ 常に起こる ☐ 1日に [] 回程度			
インターフェイス : ☐ キーボード ☐ RS232C ☐ USB			
☐ その他 []			
接続ホスト : メーカー []			
型番 []			
その他、使用状況を記入ください。			
返送先			
見積・請求先			
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。			ご確認印